

2022/03/07 (月)

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 12章 1節 (旧約聖書1047頁)

青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。 (新共同訳)

若き日に、あなたの造り主を心に刻め。 (協会共同訳)

あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。 (口語訳)

今を生きよ

現在の日本人の平均寿命は80~85歳ですが、旧約聖書の時代の寿命は皆さん、何歳くらいだと思いますか。30~35歳です。つまり青春の日々、若き日が18歳だとすると、冒頭の聖句は現在で言えば余命10年ほどの70代、80代の人への言葉にもなるのです。

つまり青春の日々、若き日にとは、若くて青春を謳歌しているのだけど、同時に死を意識していることになります。青春と死が隣合わせなのです。実は、私は高校2年生の夏休みに親友を事故で亡くしました。でもその夏から私の生活は変わりました。

本当に不思議で、意識もせず、気負いもなかったのに、この世に残された私は以前よりも諦めなくなりました。自分の能力を考え、時間を計り、一日一日を、時間を大切にするようになりました。無意識に死の恐怖と向き合っていたのかもしれませんが。

青春も、若き日も、そして人生も束の間です。地震、津波、感染症、戦争など予期しない突然の別れもあります。でもこの世を去った命もこの世に残る命も神様から与えられた命だと気づく時、今を生きよ、一日一日を大切に生きよとの神様のエールが聞こえます。

しばらく黙祷しましょう。

命の賜物を与えて下さる主よ、あなたは「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ」と言われました。どうか私たちが互いに命の尊さを敬い、互いに愛し合う喜びへと導かれますように。特に感染症など病にある方々に慰めと励ましをお与えてください。また、いま愛する祖国、友人、家族を守る人々、特にウクライナ、ロシアの人々が共に平和を愛する心で満たされ、離散した家族、幼い子どもたちに平安な日々がひと時でも早く戻りますようにお導きください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン